



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 東プレ株式会社
 コード番号 5975 URL <https://www.topre.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 内ヶ崎 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 野田 貴之

TEL 03-3271-0711

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	150,711	7.4	6,116	46.6	6,011	50.4	4,030	51.5
2020年3月期第3四半期	162,825	8.7	11,460	30.4	12,113	31.3	8,311	34.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 5,643百万円 (27.8%) 2020年3月期第3四半期 7,820百万円 (2.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	76.78	
2020年3月期第3四半期	158.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	296,683	152,679	50.3	2,845.61
2020年3月期	266,467	149,395	54.9	2,787.21

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 149,366百万円 2020年3月期 146,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		15.00	45.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	6.4	9,000	34.9	8,000	25.6	6,000	28.9	114.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	54,021,824 株	2020年3月期	54,021,824 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,531,639 株	2020年3月期	1,539,329 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	52,487,716 株	2020年3月期3Q	52,482,889 株

当社は、2017年3月期第2四半期会計期間より、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	11
(重要な後発事象)	11
3. その他	11
(継続企業の前提に関する重要事象等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響に伴う経済活動の停滞による、自動車用プレス部品の物量減、また冷凍冷蔵車や空調機器部門の受注減などにより、売上高 1,507 億 1 千 1 百万円、前年同期比 121 億 1 千 4 百万円の減収 (7.4%減) となりました。また、利益面では、売上高の減少により、営業利益 61 億 1 千 6 百万円、前年同期比 53 億 4 千 4 百万円の減益 (46.6%減) となりました。経常利益は、主に営業利益の減少により、60 億 1 千 1 百万円、前年同期比 61 億 1 百万円の減益 (50.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、40 億 3 千万円、前年同期比 42 億 8 千 1 百万円の減益 (51.5%減) となりました。

②事業セグメント別の状況

<プレス関連製品事業>

自動車関連部門におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日本国内やタイにおいて物量が減少しました。一方、中国は早急に回復軌道にのり、好転しましたが、プレス関連製品事業全体での売上高は、1,107 億 2 百万円、前年同期比 109 億 1 千 7 百万円の減収 (9.0%減) となりました。また、物量減による利益率の悪化などにより、セグメント利益 (営業利益) は、4 億 3 千万円、前年同期比 59 億 3 千 7 百万円の減益 (93.2%減) となりました。

<定温物流関連事業>

冷凍車部門におきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出・外食抑制による家食の高まりから、スーパー関係の需要が拡大し、中型車の受注・生産は好調だったものの、小型車や軽自動車は前年同期を下回りました。これにより、定温物流関連事業全体での売上高は、331 億 9 千 6 百万円、前年同期比 9 億 9 千 4 百万円の減収 (2.9%減) となりました。一方、セグメント利益 (営業利益) は、固定費削減や、売上構成の良化などにより 49 億 2 千 5 百万円、前年同期比 5 億 8 千 5 百万円の増益 (13.5%増) となりました。

<その他>

空調機器部門におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、送風機や個人住宅向け換気システムの売上は前年同期を下回りました。また、電子機器部門におきましては、キーボード「REALFORCE」の販売が国内を中心に引き続き好調だったものの、タッチパネルなどの企業向け製品の売上は前年を下回りました。その結果、その他の事業全体での売上高は、68 億 1 千 2 百万円、前年同期比 2 億 2 百万円の減収 (2.9%減) となりました。セグメント利益 (営業利益) は、7 億 6 千万円、前年同期比 7 百万円の増益 (1.0%増) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加により、1,266 億5 百万円となりました。

固定資産では、主に設備投資による有形固定資産の増加により、1,700 億7 千7 百万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ 302 億1 千5 百万円増加の 2,966 億8 千3 百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に短期借入金が増加したものの、1 年内返済予定の長期借入金の増加などにより 786 億2 千万円となりました。

固定負債では、主に社債や長期借入金の増加により、653 億8 千3 百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ 269 億3 千1 百万円増加の 1,440 億3 百万円となりました。

(純資産の部)

主に利益剰余金、その他の包括利益累計額の増加により、前連結会計年度末に比べ 32 億8 千3 百万円増加の 1,526 億7 千9 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020 年 11 月 13 日に「2021 年 3 月期 第 2 四半期業績予想と実績値の差異、通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました 2021 年 3 月期の通期個別実績見込みを修正しております。

詳細につきましては本日公表しております「通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2021 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、2020 年 11 月 13 日に公表いたしました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,024	35,731
受取手形及び売掛金	41,151	49,551
有価証券	230	-
たな卸資産	29,824	30,771
その他	9,061	10,551
貸倒引当金	△85	-
流動資産合計	108,206	126,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,253	45,205
機械装置及び運搬具(純額)	38,593	51,328
建設仮勘定	37,534	25,945
その他(純額)	23,615	25,145
有形固定資産合計	137,996	147,625
無形固定資産	3,164	3,902
投資その他の資産		
投資有価証券	13,993	15,504
その他	3,115	3,138
貸倒引当金	△9	△94
投資その他の資産合計	17,099	18,549
固定資産合計	158,260	170,077
資産合計	266,467	296,683

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,880	44,147
短期借入金	7,497	5,479
1年内返済予定の長期借入金	8,126	9,447
未払法人税等	1,016	769
賞与引当金	1,862	725
役員賞与引当金	68	45
製品保証引当金	136	145
その他	14,395	17,859
流動負債合計	76,983	78,620
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	15,137	29,530
長期未払金	51	45
繰延税金負債	2,588	4,187
P C B 処理引当金	43	46
役員株式給付引当金	74	66
退職給付に係る負債	799	291
その他	1,392	1,215
固定負債合計	40,087	65,383
負債合計	117,071	144,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	4,446	4,446
利益剰余金	135,968	137,645
自己株式	△1,111	△1,096
株主資本合計	144,913	146,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,427	3,334
為替換算調整勘定	△15	342
退職給付に係る調整累計額	△1,046	△916
その他の包括利益累計額合計	1,366	2,760
非支配株主持分	3,116	3,313
純資産合計	149,395	152,679
負債純資産合計	266,467	296,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	162,825	150,711
売上原価	139,983	134,037
売上総利益	22,841	16,673
販売費及び一般管理費	11,380	10,557
営業利益	11,460	6,116
営業外収益		
受取利息	200	124
受取配当金	432	288
固定資産賃貸料	86	63
助成金収入	109	817
持分法による投資利益	261	325
その他	297	294
営業外収益合計	1,387	1,914
営業外費用		
支払利息	238	214
社債利息	—	31
固定資産賃貸費用	15	13
為替差損	256	1,353
貸倒引当金繰入額	28	—
外国源泉税	14	21
社債発行費	92	49
休業手当	—	218
その他	90	116
営業外費用合計	734	2,019
経常利益	12,113	6,011
特別利益		
固定資産売却益	44	14
投資有価証券売却益	266	9
負ののれん発生益	254	—
抱合せ株式消滅差益	—	20
その他	20	—
特別利益合計	585	44
特別損失		
固定資産除却損	180	31
投資有価証券売却損	117	21
その他	36	3
特別損失合計	333	55
税金等調整前四半期純利益	12,365	6,000
法人税、住民税及び事業税	4,542	△53
法人税等調整額	△425	1,848
法人税等合計	4,116	1,795
四半期純利益	8,249	4,205
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△62	174
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,311	4,030

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	8,249	4,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91	949
為替換算調整勘定	△280	382
退職給付に係る調整額	68	127
持分法適用会社に対する持分相当額	△124	△19
その他の包括利益合計	△428	1,438
四半期包括利益	7,820	5,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,899	5,424
非支配株主に係る四半期包括利益	△78	218

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1 四半期連結会計期間において、当社グループの組織再編を契機として、連結の範囲の見直しを行った結果、東京メタルパック株式会社については連結財務諸表に与える影響が軽微であると判断し、第1 四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しています。

第2 四半期連結会計期間において、当社を吸収合併存続会社とし、当社の連結子会社であったトップ工業株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったため、連結の範囲から除外しています。

また、当社を吸収合併存続会社とし、当社の非連結子会社であった東プレ・アール・アンド・ディー株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行っております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	121,619	34,190	155,809	7,014	162,825	—	162,825
セグメント間の内部 売上高又は振替高	120	13	133	273	406	△406	—
計	121,739	34,204	155,942	7,287	163,232	△406	162,825
セグメント利益	6,367	4,340	10,707	752	11,460	—	11,460

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

前第3四半期連結累計期間において、三池工業株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益254百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益に計上しているため、セグメント利益には含めておりません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	110,702	33,196	143,899	6,812	150,711	—	150,711
セグメント間の内部 売上高又は振替高	111	7	119	51	170	△170	—
計	110,814	33,204	144,018	6,863	150,882	△170	150,711
セグメント利益	430	4,925	5,355	760	6,116	—	6,116

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

該当事項はありません。